

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0316
施設名	かすみ台第一保育園
施設所在地	東京都青梅市大門2-253
法人名	社会福祉法人かすみ福祉会

### 1.活動のテーマ

〈テーマ〉

色 自然 (4歳児)

〈テーマの設定理由〉

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

美術指導の経験から、色作りに興味を持ち始めた。「色はどのようにして出来るのか?」の興味、関心から「花からも出来るのではないか?」と提案があり、「色、自然」をテーマとした。

### 2.活動スケジュール

- R6.5～
- ・美術指導を受け、4色の絵の具で様々な色づくりが出来る事知る。
  - ・花、すり鉢、ペットボトルを使って、色作りを行う。
  - ・出来上がった色水で、パレット・筆、画用紙等を使い絵を描く。
  - ・図鑑で花、夏野菜の種類を調べる。
  - ・夏野菜（トマト、ピーマン、きゅうり、おくら、枝豆、へちま）を育て、収穫する。
  - ・収穫した野菜（トマト、ピーマン）でピザトースト作りを行う。

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

すり鉢、すりこぎ棒、パレット、筆、画用紙、障子紙、図鑑、トマトの苗（黄金、中玉、ももたろう）、土、おくら、きゅうり、ピーマン、枝豆、へちま、食パン、チーズ、

#### 4. 探求活動の実践

##### 〈活動の内容〉

- ・美術で4色の絵の具から様々な色が出来ることをしり、興味を持った。
- ・絵の具だけでではなく草花からも色が出来ることを知り、楽しむ。「この色水を使って絵を描きたい」との声があり、画用紙やパレット、筆を用意した。
- ・自分たちが作った色で絵を描くと「薄いね」「もっとお花が必要だったのかもしれない」と次回もチャレンジしようとする姿が見られた。
- ・どの草花を使用したかを図鑑で調べ草花にも興味を持っていた。
- ・実際に自分たちで植物を育て、食べる。

##### 〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

###### (活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

美術指導で4色（赤、青、黄、白）の絵具を混ぜ合わせて出来る色づくりに関心を持つと、園庭に咲く花を見て「綺麗な色だね」「色水つくれるのかな？」と子どもたちの会話から、ペットボトルを準備し花（おしあい花）、水を入れ振ってみた。想像していた色より薄い色だったので、「なんでだろ？」「もっと濃くならないかな？」の疑問に、すり鉢を用意しすりつぶしてみるとこととした。イメージ通りの濃い色水ができあがるまで「もっと水いれる？」「お花をもっと入れようかな？」と自分好みの色になるまで試していた。さらに関心が深まり、「この色水を使って絵を描けるかな？」「試してみよう」と提案があがり、パレット、筆、障子紙、画用紙を用意した。想像していた通り描けることに喜び、さらに関心が深まり「花の名前を調べてみよう」との提案があり声があり、図鑑を用意した。図鑑を見て花だけではなく、夏野菜にも興味を示し「この野菜の花は何色かな？」「どんな種類があるのかな？」「味はどうかな？」と会話がはずみ、数種類の夏野菜を育てることした。野菜を育てていく過程で花が咲き、咲き終わるとそこから野菜が育ちはじめることを知ることができた。色水を使って描いた絵を持ち帰るときに、保護者に色水を作った過程を自信に満ちて伝えていた。トマト、ピーマンを収穫した時に「ピザにすると美味しいよね」「ピザを作ってみようよ」と、子どもたちの提案からピザトースト作りをした。自分たちで育てたトマト、ピーマンを具材にし美味しいピザが出来上がり大満足な様子であった。



#### 5. 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

色が混ざりあい色々な色が出来ることに関心を持つことから始まり、「なんでだろう？」「次はこうしてみようよ」「すごい。こんなことが出来た。」と次々に関心が深まり、活動内容が変化をしていく取り組んでいった。花を使った色水作りでは、色の濃さを自分たちで調整したり、絵を描くと見ている色より薄くなってしまうことに驚いていたが「どうしたら、思っている色になるか？」を子どもたちで考えていた姿に成長を感じた。オシロイバナ以外にも草花を見つけると「このお花も色水出来そうじゃない？」と話す姿が見られ、楽しく取り組めたことがわかり嬉しかった。図鑑を通して調べたり、夏野菜を自分たちで育ててみたいと思う気持ちが芽生え、大切に育てることで野菜が大きくなることにも気付くことが出来、いい経験が出来たと感じた。